

子育ての主体としての取組

学習習慣づくり

学問のすすめ

5, 6年生の勉強のキーワードは
「自分から進んで（自主的に）」です。



勉強時間の 約束

5年生：60分以上
6年生：70分以上

1. 勉強の準備をしよう

- テレビは、消しましょう。
- 鉛筆や下じきの準備を
しましょう
- 大きな声で国語の
教科書を2ページ読み、
頭の体操をしましょう。
- 姿勢を正しくして勉強を
始めましょう。

声を出して本を読むと、
頭の中がアタタまります。
すると、考える力が
生まれ勉強したことを
忘れにくくなります。

おうち の方へ

- 子どもの努力や良いところ、変化を見つけ
てほめてください。
- 学習や集中力に大きく影響する、規則正し
い生活リズムを与えてください。

2. 勉強しよう

● 宿題をしましょう。

- ・ できるところからやりましょう。
- ・ 「分からない」と思ったら、授業中に書いたノートを開き、
勉強を思い出しましょう。
- ・ どうしても「分からない」ところは、学校で先生に聞くための
メモをしておきましょう。

● 見直しましょう

- ・ 見直す力を育てましょう。
- ・ 間違いの発見は、自分が間違いやすいところの発見です。
もう一度解いてみましょう。



● 時間があれば 自主学習をしましょう

- ・ もう一度、くり返し宿題をやってみましょう。
- ・ 自分から進んで、苦手なところを取り組んでみましょう。

3. 話しましょう

- 日の出っ子ノートの[ふりかえりシート]に○をつけておうちの人に
サインやコメントを書いてもらいましょう。
- がんばったところや覚えたことを、おうちの人に話しましょう。
- 学校での勉強のこと、友達と遊んだことなどを話しましょう。



- ・ 大きな声で読めていたね。
- ・ 字がきれいになったね。
- ・ 集中力がついたね。
- ・ よく自分で解けたね。
- ・ 前の勉強をよく覚えていたね。

子育ての主体としての取組

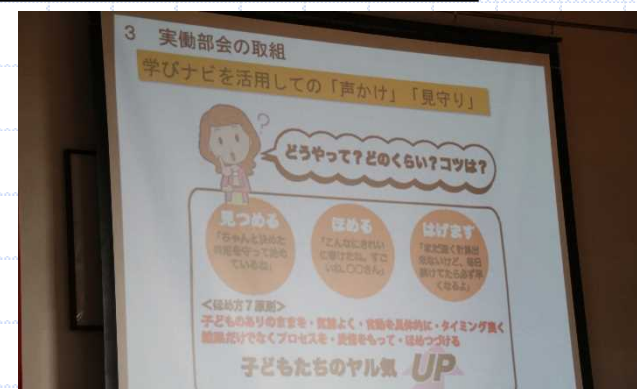
学習習慣づくり



実働組織の取組成果発表（〇小）

日にち	心にのこったこと(伝えたいこと)	ふりかえりシート できた〇 できなかった×	おうちの人から
11/1	今日、英語でエリサベス先生とい しよにしゃべりました。エリサベス	勉強 ○	お母さん エリサベス 先生に会、てみた な。たよ。
28	先生は思った以上に明るく元気で、 けっこう話かしく、もう話か	仕事 ○	(英語は話せないけれど)
(月)	できるよになつたのでよかったです。	あいさつ ○	フラダンス 担任 まいね

各学校で作成しているノート（H小）



学びナビの活用状況発表（〇小）

春日市の概要

CSを基盤とした
学力向上の考え方

子育ての主体
としての取組

地域づくりの主体
としての取組

教育の主体
としての取組

教育委員
会の支援

取組の
成果

子育ての主体としての取組

学習支援への参画



保護者による学習支援（H小）



算数科等での丸つけ補助（H小）

春日市の概要

CSを基盤とした
学力向上の考え方

子育ての主体
としての取組

地域づくりの主体
としての取組

教育の主体
としての取組

教育委員
会の支援

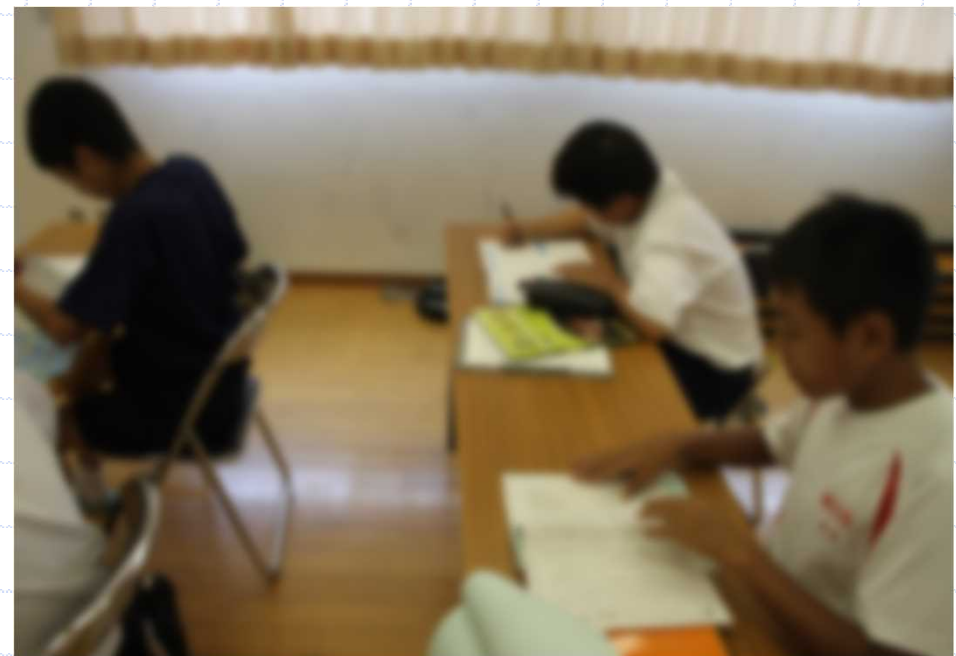
取組の
成果

地域づくりの主体としての取組

学びの場の提供



公民館学習・寺子屋（小学校）



公民館開放（中学校）

春日市の概要

CSを基盤とした
学力向上の考え方

子育ての主体
としての取組

地域づくりの主体
としての取組

教育の主体
としての取組

教育委員
会の支援

取組の
成果

地域づくりの主体としての取組

学習支援への参画



生活科学学習への支援（H小）



土曜自主学習会の支援（N中）
※地域学校協働本部主催・運営

教育の主体としての取組

【視点5】学校評価 家庭・地域との連携

＜学校評価＞

- ・学校運営協議会での定期的な評価と公開
- ・4つのコミュニティでの活動評価と公開
- ・HPの活用

＜家庭・地域との連携＞

- ・日の出っ子ノート、キラキラノート活用
- ・「学問のすすめ」配付
- ・三者主体の運動会、サンフェスタ

《成果》

保護者評価「家庭学習時間の声かけ・見守り」3.3以上

【視点2】学力向上をめざす授業づくり

- ・協働して学ぶ子どもを育てる1単位時間の工夫。
- ・めあてを自分の言葉でつくりることができる活動を位置づける。(主体的な学び)
- ・自分の考えを付加・修正・強化する交流活動を位置づける。(対話的な学び)
- ・授業の終末に自ら学んだことを振り返り、友達に伝え合う活動を位置づける。(深い学び)
- ・The日の出スタンダードの共通理解

【重点取組】

- ・自分の言葉でつくる「めあて」と「まとめ」のある授業や交流のある授業づくりを通して、主体的・対話的で深い学びのある授業のあり方をさぐる。

《成果》

教師評価「めあて、まとめを作る授業づくり」3.5以上
児童評価「自分の考えを書くことができる」3.5以上

【視点4】教員の意識指導力向上

＜研究内容＞

- ・主題研究
- ・一般研修
- ・北中フロンタ公開授業
- ・スキルタイム研修

【重点取組】

- ・「協働の学び」を日常の授業に活かす。
- ・考え、議論する道徳の授業づくりを通して、思いや考えを高め合う学びの充実

《成果》

教師評価「協働して学ぶ授業づくり」3.5以上

【視点3】学力の基盤づくり

- ＜授業づくり＞・スキルタイムの実施（週2回）
- ・学び方の徹底（毎時間）
- ＜学校全体で取り組む教育活動＞・昼の個別学習（上学年週3回・下学年週2回）
- ・復習期間の設定（学年末）
- ・読書タイム（10分ずつ週4回）
- ・辞書引き学習の推進

《成果》

「標準学力検査 平均到達児童率」国語 80 % 算数 80 %

H小学校の学力向上プラン

【視点1-①】児童の実態分析

○三者による学校評価（4段階）

- ・授業中によく手を挙げる子ども（3.72）
- ・自分なりの考えを書きできている子ども（3.58）
- ・家庭学習の時間を守れるよう声かけや見守りをしている保護者（3.4）
- ・子どもがめあて、まとめを作る授業を実施している

《学力の数値に関する考察》

- 日々の単時間（スキルタイム）の取組により、発声・音読・計算等を積み上げてきたことが基礎基本の力を養うことに大きく関わっていると考える。その結果、積極的に学習に参加することができている。
- 本校のB区分においての成果が見られるのは、校内研修における主体的・対話的で深い学びのある授業研修の成果とコミュニティスクールにおける家庭の教育力の向上であると考える。

春日市の概要

CSを基盤とした
学力向上の考え方

子育ての主体
としての取組

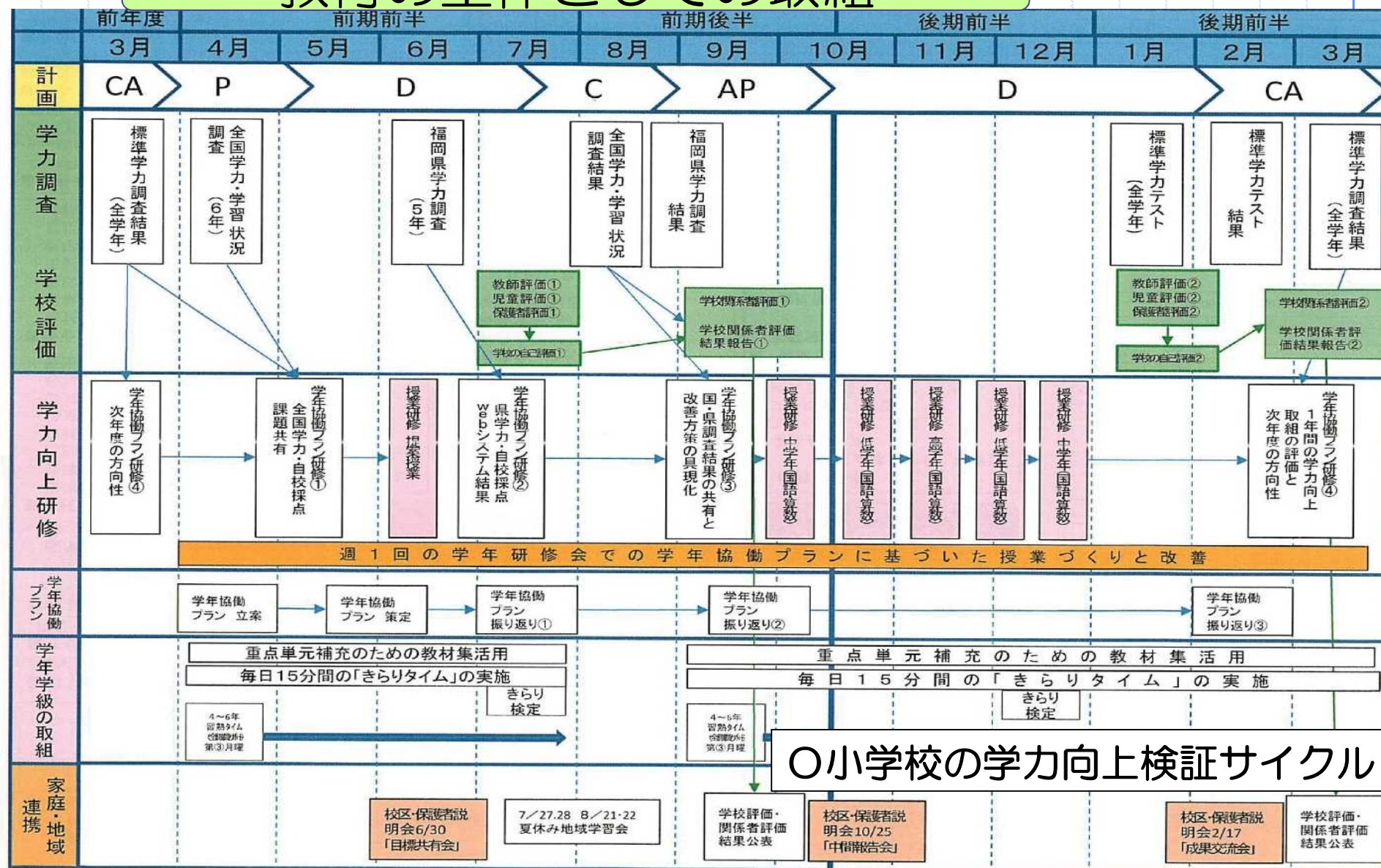
地域づくりの主体
としての取組

教育の主体
としての取組

教育委員
会の支援

取組の
成果

教育の主体としての取組



○小学校の学力向上検証サイクル

教育の主体としての取組

地域を生かす



保護者にミシンの使い方習う

地域と学ぶ



親子進路学習会

◆地域連携カリキュラム (社会に開かれたカリキュ ラム) の4観点

〈地域を生かす〉

- 地域の方の経験や知識、
趣味や特技を学習に生か
す。

〈地域を学ぶ〉

- 地域の歴史、伝統、文化、
自然等を学習に生かす。

〈地域に還す〉

- 学んだことを地域や家庭
に伝え還す。

〈地域と学ぶ〉

- 保護者・地域の方と共に
学ぶ。

地域を学ぶ



地域の自慢を聞く

地域に還す



発見校区のよさ